

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Aコート 第2試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタートル)

チームA	94	{ 24 - 27 31 - 6 17 - 12 22 - 32 }	77	チームB
県立山形南 山形				北海道大麻 北海道

県立山形南

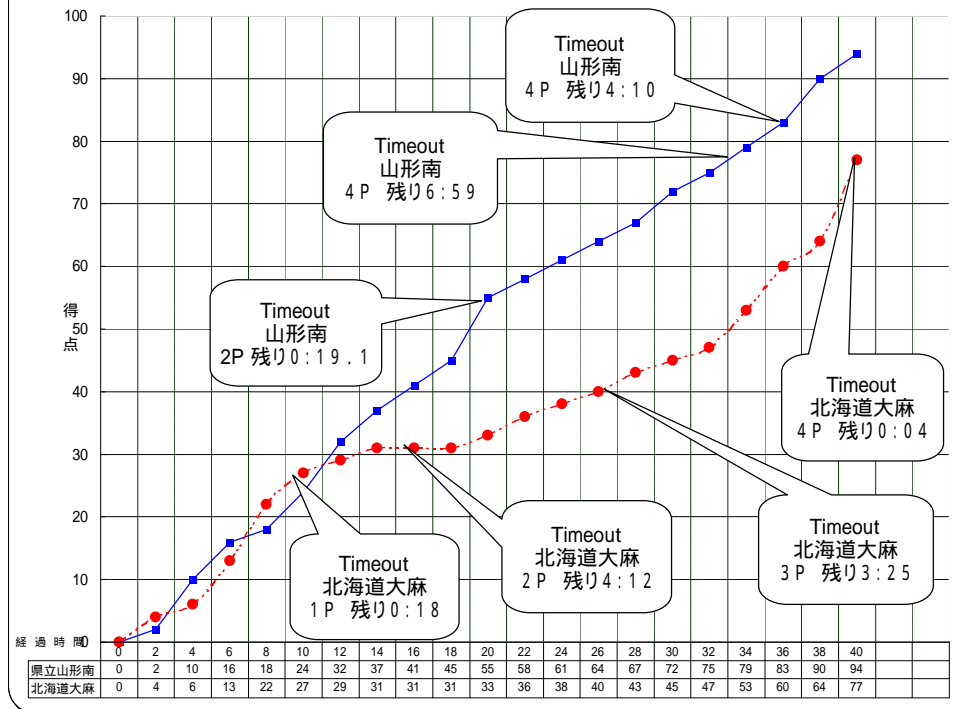
番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	土門 亮太	X	14	4	10	1	2	0	0	2	0	5	1	1	5	0	34
5	石垣 博也	X	7	0	0	3	4	1	3	2	2	2	0	0	4	0	29
6	岡崎 晃平	/	9	0	0	4	6	1	1	1	2	0	2	2	2	0	18
7	渡邊 尚樹	X	9	3	14	0	0	0	0	1	1	3	2	0	0	0	26
8	加藤 俊太郎	/	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
9	柴田 翔	/	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
10	加藤 遼	/	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	2
11	佐藤 正成	X	23	0	0	11	14	1	3	0	5	11	1	0	5	0	34
12	堀 直人	X	16	4	10	2	3	0	0	2	3	12	0	1	3	0	31
13	藤原 竜之介	/	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
14	松浦 一翔	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	10
15	高橋 貴大	/	12	2	7	2	4	2	2	0	0	0	5	0	1	0	10
コーチ	細谷 尚寿	/	/	/	/	/	/	/	/	0	3	3	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			94	13	42	25	36	5	9	11	16	38	15	4	21	0	200
確率			31.0%	69.4%	55.6%	計		54									

北海道大麻

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	小林 千尋	/	6	0	0	3	8	0	0	0	1	2	0	2	2	0	11
5	斉藤 高志	/	18	0	0	9	15	0	0	3	4	7	0	0	2	0	37
6	近藤 圭太	X	17	4	11	2	8	1	1	4	0	0	2	1	2	0	38
7	坂上 慎	X	13	2	8	2	5	3	3	1	1	3	1	2	2	0	31
8	桐井 理貴	X	8	0	0	3	6	2	3	1	0	1	2	1	3	0	18
9	増田 優造	/	2	0	0	1	3	0	0	1	1	2	1	2	0	0	8
10	竹田 篤	/	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
11	八幡 泰輝	X	6	0	0	2	7	2	2	4	3	3	1	1	1	0	29
12	嶋 倉 巧	/	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	4
13	池田 慶斗	/	4	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6
14	石田 隼貴	/	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
15	兼子 凌弥	/	3	0	1	1	2	1	1	0	0	0	1	1	1	0	6
コーチ	長野 雅男	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	5	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場			77	6	23	25	58	9	11	16	13	23	9	10	13	0	200
確率			26.1%	43.1%	81.8%	計		36									

2分毎による得点の推移

県立山形南
北海道大麻



戦評

両チーム共、決して高くはない身長を粘りのディフェンスと、速攻を持ち味として予選を勝ち抜いてきた。一回戦から好ゲームが期待される対戦となった。
第1P山形南がオールコートマンツーマン、大麻はハーフコートマンツーマンでスタート、共に激しいディフェンスからの速攻で点を重ね、互角の戦いとなる。残り3分大麻は2-3ゾーンに変え、引き離しにかかるが、山形南#11佐藤のリバウンドやゴール下の粘りなどで3点差に踏みとどまる。
第2P山形南は#12堀の2連続3Pシュートをきっかけに力強いリバウンドからの速攻で残り4分には10点差としたのに対し、大麻はなんとかタイムアウトで修正を図ろうとする。しかし、山形南の勢いは止まらずさらに点差を2点に広げ前半を終える。
第3P大麻はハーフコートゾーンプレスで、追い上げを図るが、山形南は#5石垣、#11佐藤がリバウンドでの頑張りを見せ、72-45とさらに点差を広げる。
第4P大麻はオールコートゾーンプレスから、速攻、#6近藤の3Pシュートなどでようやくペースを掴み点差を詰めるが、終始リバウンド、ルーズボールを制した山形南が勝利をものにした。

主審	嶋田 博昭	副審	遠藤 悟史	戦評	佐野 正 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	---------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット